

三重県精神保健福祉審議会

各部会報告

- 1 アルコール健康障害対策推進部会
- 2 ギャンブル等依存症対策推進部会

三重県精神保健福祉審議会アルコール健康障害対策推進部会報告

三重県精神保健福祉審議会アルコール健康障害対策推進部会は、三重県精神保健福祉審議会条例第8条の規定に基づき、平成28年8月に設置されました。

当部会は、アルコール健康障害への対策を総合的かつ計画的に推進することを目的としています。

1 開催日時 令和5年1月13日（金） 18時00分～19時30分
（オンライン開催）

2 委員名簿 別紙のとおり

3 出席委員 猪野会長 ほか委員12名（1名欠席）

4 審議内容

（1）三重県アルコール健康障害対策推進計画の進捗状況について

<事務局からの報告内容>

「三重県アルコール健康障害対策推進計画」に基づき、令和3年度の取組実績と令和4年度の取組状況について報告しました。

- ・ 治療拠点機関において、自助グループへの紹介や一般県民、大学生への啓発、他の医療機関向けの人材育成研修などを行っている。
- ・ 自助グループや民間団体と協働で啓発イベントを行っている。
- ・ 飲酒運転0（ゼロ）をめざす条例による違反者の受診率については近年増加傾向であるが、令和3年度には、再勧告の制度が導入されたこともあり過去最高の受診率となった。

<委員からの主な意見>

- ・ 自助グループの活動については、コロナ禍ではあるが感染に留意しながら活発に活動している。イベントについてもオンラインと併用で実施している。
- ・ 度数の高い酒が24時間購入できる状況であるため、健康障害の知識などの啓発が重要である。
- ・ 飲酒運転0（ゼロ）をめざす条例による違反者の受診率が増えているのは喜ばしい。また、再勧告を赤い用紙で行うなど工夫がみられてよいと思う。

(2) その他

<委員からの依頼>

- ・ 一般病院を対象に、アルコール健康障害を持つ患者を識別するスクリーニング実施の有無などについての調査を計画しており、他の委員へ協力依頼があった。

三重県精神保健福祉審議会				
アルコール健康障害対策推進部会委員等名簿				
【委員(13名)】		(令和3年8月1日～令和8年7月31日) (五十音順、敬称略)		
	団体名	職名	氏名	備考
医療関係者 (7名)	泊ファミリークリニック	副院長	猪野 亜朗	会長
	三重大学医学部消化器・肝臓内科	副科長	岩佐 元雄	
	三重県精神科病院会	会長	齋藤 純一	
	公益社団法人三重県医師会	理事	齋藤 洋一	
	三重県病院協会	理事	平尾 文雄	
	独立行政法人国立病院機構榑原病院	院長	村田 昌彦	会長代理
	三重県立こころの医療センター	院長	森川 将行	
産業保健 (1名)	三重産業医会	会長	酒井 秀精	
当事者 (1名)	公益社団法人三重断酒新生会	会長	宮崎 學	
事業者 (2名)	三重県酒造組合	専務理事	上田 学	
	三重県小売酒販組合連合会	事務局長	丸橋 孝二	
支援団体 (1名)	四日市アルコールと健康を考えるネットワーク	運営委員	兵倉 香織	
保健所 (1名)	三重県保健所長会	伊勢保健所長	鈴木 まき	

三重県精神保健福祉審議会ギャンブル等依存症対策推進部会報告

三重県精神保健福祉審議会ギャンブル等依存症対策推進部会は、三重県精神保健福祉審議会条例第8条の規定に基づき、令和2年6月に設置されました。

当部会は、ギャンブル等依存症への対策を総合的かつ計画的に推進することを目的としています。

1 開催日時 令和5年3月1日（水） 18時00分～19時30分
（オンライン開催）

2 委員名簿 別紙のとおり

3 出席委員 村田会長 ほか委員12名（2名欠席）

4 審議内容

（1）三重県ギャンブル等依存症対策推進計画の進捗状況について

<事務局からの主な報告内容>

「三重県ギャンブル等依存症対策推進計画」に基づき、令和4年度の取組状況について報告しました。

- ・ 令和3年度の県内公営競技場の入場者数と売上額については、5年前と比べると、入場者数は減少しているが、売上額については、インターネット投票による増加により著しく増加している。
- ・ リーフレットを作成し啓発に努めている。
- ・ 自助グループや民間団体と協働で啓発イベントを年に3回実施している。
- ・ 治療拠点機関において、自助グループへの紹介や一般県民への啓発、他の医療機関向けの人材育成研修などを行っている。
- ・ 警察、消防、保護司、保護観察所、精神科病院、保健所、児童相談所、市町、障がい者相談支援センターなどの関係機関が参加する依存症ネットワーク会議を開催し情報共有することで地域の連携強化を図っている。
- ・ こころの健康センターにおいて、「家族教室」や「集団プログラム」を実施し当事者や家族等への支援に努めている。
- ・ 公営競技場や遊技業組合において、ギャンブル等依存症についての啓発や相談窓口の設置、本人や家族の申告による入場制限などに取り組んでいる。

<委員からの主な意見>

- ・ インターネット投票は県内に限らず全国から利用できるため売上額などのデータについては全国のデータでも確認していく必要がある。
- ・ 中学生や高校生への教育も重要である。

- ・ コロナ禍において、若者のインターネットギャンブルが増えたと言われて
いる。借金についてもインターネットで検索した業者に簡単に借りてしま
う場合もありインターネットリテラシーも必要である。

(2) その他

- ・ 自助グループ例会案内ポスターの公営競技場での掲示依頼について
- ・ 部会委員への新たな団体の参加について

三重県精神保健福祉審議会				
ギャンブル等依存症対策推進部会委員等名簿				
【委員 (13名)】			(五十音順、敬称略)	
区 分	団 体 名	職 名	氏 名	備 考
医療関係者 (4名)	三重県精神科病院会	会長	齋藤 純一	
	公益社団法人三重県医師会	理事	齋藤 洋一	
	独立行政法人国立病院機構榊原病院	院長	村田 昌彦	会長
	三重県立こころの医療センター	院長	森川 将行	会長代理
支援団体 (2名)	特定非営利活動法人 三重ダルク	施設長	市川 岳仁	
	ギャンブル依存症問題を考える会 三重支部	支部長	渡辺 功一	
多重債務問題等 関係団体 (2名)	三重県司法書士会	三重県司法書士会推薦司法書士	岩城 厚子	
	三重弁護士会	弁護士	金森 邦義	
事業者 (4名)	三重県遊技業協同組合	専務理事	伊藤 正彦	
	津市ボートレース事業部経営管理課	次長兼参事・課長	永田 和幸	
	松阪市産業文化部競輪事業課	主幹	福島 慎也	
	四日市市商工農水部けいりん事業課	次長兼課長	村田 真司	
保健所 (1名)	三重県保健所長会	伊賀保健所長	土屋 英俊	